

# 福岡県の洪水

－ 次の世代に語り継ぐ、忘れてはならない歴史 －

## 研究発表

### ◆「江戸時代の遠賀川流域の洪水」 千々和 昭男 氏（直方郷土研究会）

黒田長政は慶長17（1612）年に「治水大計」を示し、当時毎年のように氾濫していた遠賀川下流域の抜本的な治水対策に着手します。それから明治・大正・昭和に至るまで、遠賀川流域の人々の暮らしを通して、水害の歴史を巡ります。

### ◆「昭和28年6月の豪雨による八女地域大災害」

山口 祐士郎 氏（懐良親王顕彰会）

昭和28（1953）年6月、豪雨により八女地域は大きな被害を受けました。河川の氾濫、道路、堤防決壊、更に建物の流失・浸水と人的被害の発生。その後の日向神ダム、広川ダム建設。当時を体験された方からの聞き取りを報告します。

### ◆「1979年行橋市6・30水害を振り返って」

山内 公二 氏（美夜古郷土史学校）

昭和54（1979）年6月30日、行橋市は集中豪雨のため市内の河川が決壊・氾濫。満潮とも重なって全市が水浸しとなりました。市の災害対策本部の業務に従事した発表者が、当時の業務概要とその後について振り返ります。

## 講演

### ◆「公文書でみる福岡県の災害」

津中 由紀 氏（福岡県立公文書館 主任相談員）

福岡共同公文書館は、福岡県と県内全市町村（北九州市、福岡市を除く。）が共同で設置・運営し、歴史公文書や行政資料の収集、整理保存を行うとともに、展示会や研修会、講座等を開催しています。同施設が所蔵する福岡県の災害資料を紹介します。

期 日 令和4年 6月25日(土) 13:00～15:30 ※受付開始 12:30

会 場 福岡県立図書館 地下1階レクチャールーム（福岡市東区箱崎 1-41-12）

定 員 80名（事前の申込が必要です。） ※申込用紙は裏面

参加費 無料

主催 福岡県教育委員会

共催 福岡県地方史研究連絡協議会（福史連）

# 第55回福岡県地方史研究協議大会 受講申込書

【申込締切】6月10日(金) ※定員を超えた場合は先着順とします。

(ふりがな) お名前	( )		
※該当するものに○をしてください。		電話	
( ) 福史連加盟団体所属	( ) 個人	FAX	
( ) それ以外の団体所属	[ ]	Eメール	

★受講に関して配慮の必要な方は事前に御相談ください。

御記入頂いた内容については、当事業以外の目的で使用することはありません。

①②③のいずれかの方法でお申込みください。電話での申込は御遠慮ください。

① **FAX**: 092-641-1127

この面をそのままFAXしてください。

② **Eメール**: kyodo-reference@lib.pref.fukuoka.jp

氏名・電話・所属等を明記し、タイトルを「地方史大会申込」としてお送りください。

③ **郵送**: 受講申込書に必要事項を記入して、下記に郵送してください。

〒812-8651 福岡市東区箱崎1丁目41-12

福岡県立図書館 ふくおか資料室 地方史大会申込 宛

※申込が定員を超えた場合は、受講できない方のみにお知らせします。

**お問合せ** 福岡県立図書館 ふくおか資料室

福岡市東区箱崎1丁目41-12

TEL 092-641-1126 (直通)

FAX 092-641-1127

※特別な事情のある方を除き、マスクの着用をお願いいたします。

※県内の新型コロナウイルス感染拡大等の状況により、中止や内容変更の判断を行う場合があります。

その際は、福岡県立図書館のホームページでお知らせします。



- ・地下鉄「箱崎宮前」駅から 約100m
- ・JR九州「箱崎」駅から 約800m